

事業名称		達成状況の評価
事業名	道路改築事業	A
整理番号	27-1	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	上伊那郡 辰野町	
箇所名	北大出	
事業年度	平成26年度～令和2年度	
		配慮した項目 27 = 100% 配慮する全項目 27
事業概要		
目的	当該地域周辺は高速道路、国道、県道及び農道の交通が集中し、慢性的な渋滞が発生しており、「道路見える化計画のイライラ箇所」にも位置付けられている箇所であるため、早期の渋滞解消に向けて道路改良を行う。	
事業概要	道路改良工 L=1,250m W=6.5(12.5)m	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実地
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	適正に実地
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実地
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実地
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実地
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	適正に実地
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実地
	水環境	【水質汚濁の防止】
・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		適正に実地
【水循環の保全】		
	・水田や地下水・湧水を保全する。	適正に実地
地形・地質	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実地
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実地
野生動植物	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・工事箇所以外の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・道路と民地の境に垂直な段差を出来るだけ設置し動物の侵入を防止する。	適正に実施
	・冬眠中となる時期の畑の掘り起こしを出来るだけ避ける。	適正に実施
景観	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	・公共事業景観育成指針に基づき、周辺の景観と調和のとれた道路景観の育成に配慮する。	適正に実施

文化財等	【文化財等への配慮】	
	・工事施工範囲内について試掘、発掘調査を行い、発掘物の保全を図る。	適正に実施
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
	・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	適正に実施
	・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	適正に実施
	省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】
・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。		適正に実施
・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。		適正に実施
・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。		適正に実施
【エネルギーの有効利用】		
・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。		適正に実施